

# 令和5年度消費生活相談の状況

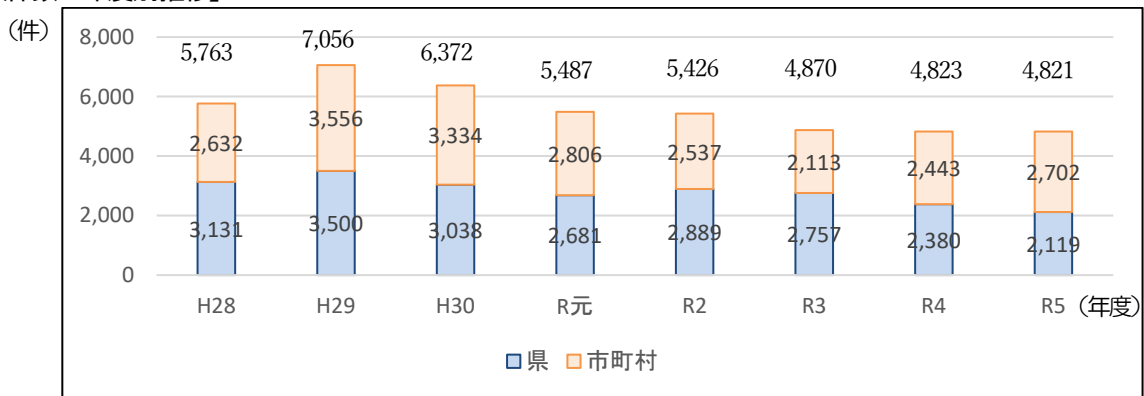
令和6年6月7日

令和5年度の県内消費生活相談の状況についてお知らせします。

## 【概要】

- 県及び市町村の消費生活センター・消費生活相談窓口への相談件数は4,821件で、前年度から2件減少した。
- 内容別では、「商品一般（身に覚えのない請求、引き落とし等）」に関する相談が前年度と同じく最多となった。（525件、構成比10.9%、前年度比60件増）
- 年代別では、60歳代を当事者とする相談が最多（890件、構成比18.5%、前年度比82件増）で、次いで70歳代（772件、構成比16.0%、前年比59件増）となっており、依然として高齢者からの相談割合が大きい。
- 若年者を契約当事者とする相談は、19歳以下は97件で、前年度比で21件減少、20歳代は271件で、前年度比で63件減少した。若年者からの相談では、「内職・副業」、「融資サービス」、「他の教養・娯楽（ネットゲーム、ギャンブル等）」などに関する相談割合が他の年代に比べて大きかった。
- 30歳代では、「商品一般」に次いで2件差で「融資サービス」に関する相談が多く、10歳代から30歳代を中心に、前年度よりも融資や副業といった相談内容の割合が増加した。

## 【相談件数の年度別推移】



## 【主な相談内容】 ※構成比は相談内容の確認できた総数4,812件を基に算出

順位 (前年)	相談内容	件数 (構成比)	順位 (前年)	相談内容	件数 (構成比)
1 (1)	商品一般（身に覚えのない請求、引き落とし等）	525 (10.9%)	6 (6)	相談その他（個人間借金、労働相談など消費者問題以外の相談）	165 (3.4%)
2 (2)	化粧品（美容液、ニキビクリーム等の定期購入等）	296 (6.2%)	7 (8)	他の教養・娯楽（インターネットゲーム、出会い系サイト、ギャンブル等）	139 (2.9%)
3 (3)	融資サービス（多重債務、サラ金・ローン等）	242 (5.0%)	8 (10)	工事・建築・加工（各種工事、リフォーム等）	122 (2.5%)
4 (4)	役務その他（不用品回収、保険申請サポート、占いサイト等）	224 (4.7%)	9 (9) (12)	娯楽等情報配信サービス（アダルト情報、音楽配信、映像配信等）	116 (2.4%)
5 (5)	健康食品（食品、サプリメント等の定期購入等）	194 (4.0%)		移動通信サービス（スマートフォン・携帯電話、Wi-Fi等）	

## 【契約当事者の年代別相談件数】 ※構成比の合計は四捨五入の関係で100%にならない場合がある

区分	R5年度	構成比 (%)	R4年度	構成比 (%)	増減	[増減率%]	主な相談内容の1位
19歳以下	97	2.0%	115	2.4%	△18	-15.7%	他の教養・娯楽
20歳代	271	5.6%	327	6.8%	△56	-17.1%	内職・副業
30歳代	305	6.3%	358	7.4%	△53	-14.8%	商品一般
40歳代	553	11.5%	604	12.5%	△51	-8.4%	商品一般
50歳代	628	13.0%	701	14.5%	△73	-10.4%	商品一般
60歳代	890	18.5%	804	16.7%	86	10.7%	商品一般
70歳代	772	16.0%	1,097	22.7%	-	-	商品一般
80歳以上	366	7.6%			-	-	健康食品
不明	939	19.5%	817	17.0%	122	14.9%	商品一般
計	4,821	100%	4,823	100%	△2	-0.04%	